

# 顕著な活躍 33件審査

## 山陽新聞体育賞選考会



山陽新聞体育賞の受賞候補を審査する選考委員＝山陽新聞社

2023年にスポーツ分野で目覚ましい成績を収めた郷土ゆかりのアスリートらに贈る「第82回山陽新聞体育賞」の選考会が4日、岡山市北区柳町の山陽新聞社で開かれ、受賞候補の33件を審査した。

山本浩之岡山県スポーツ振興課長、松井守県スポーツ協会専務理事、高取俊明県高体連理事長、岡山大の加賀勝上席副学長、川崎医療福祉大の米谷正造教授ら選考委員7人が出席。委員長の清水玲子山陽新聞社長、業本部長が野球のワールド・ベースボール・クラシック

ク(WBC)などの盛り上がりに触れ、「スポーツの注目度は高まり、影響力は非常に大きい。活躍が顕著な候補について、忌憚のない意見をいただければ」とあいさつした。

候補は国内外の主要大会で好成績を残し、県スポーツ協会や県高体連などから推薦された岡山、広島、28個人、5団体。委員はそれぞれの活躍について説明を聞き、意見を交わした。

受賞者は25日付の本紙で発表し、27日に山陽新聞社で贈呈式を行う予定。

(橋本直樹)